

温故知新

岩崎友一公式 HP <http://iwasakitomokazu.com> 岩手県議会 HP <http://www.pref.iwate.jp/~hp0731/>



PROFILE

岩崎友一のプロフィール



岩崎友一

(いわさき・ともかず 35才)

誕生日 昭和 53 年 9 月 18 日

身長 165cm

体重 60kg

血液型 B 型

自己紹介

- 趣味…… 野球、ゴルフ、DVD、音楽鑑賞、温泉旅行
- 座右の銘…… 「温故知新」
- 好きな食べもの 納豆、麻婆豆腐（辛口）、秋刀魚の塩焼き
- 長所…… 何事にも前向きなところ
- 短所…… たまに突っ走りすぎる

経歴

平成元年 大槌町立安渡小学校 卒業
 平成4年 大槌町立大槌中学校 卒業
 平成7年 盛岡中央高等学校 卒業
 平成13年 城西大学 経済学部 経営学科 卒業
 平成14年 鈴木栄子司法書士事務所 勤務
 平成18年 (株)ガルバート・ジャパン 勤務
 平成22年 岩手県議会議員補欠選挙で初当選
 平成23年 岩手県議会議員選挙で2期目当選
 (現在に至る)

県議会の役職

総務委員会 委員長 / 議会運営委員会 委員
 スポーツ振興等調査特別委員会 委員
 東日本大震災津波復興特別委員会 委員
 議会改革推進会議 副座長

公式ホームページ

- 岩崎友一公式ホームページ
<http://iwasakitomokazu.com> プロログ更新中
- 岩手県議会ホームページ
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0731/>

消費税率引上げに伴う 給付金について

政府は消費税率の引き上げに際し、所得の低い方や子育て世帯の負担を緩和するために1万円の給付金制度を設けました。「自分が対象者か？」を確認していただき、受給対象でしたらお住まいの市町村に申請して下さい。

1 「臨時福祉給付金」

- …住民税が課税されていない方
⇒ご家族一人につき1万円が支給されます。
- ※住民税が課税されている方の扶養親族、生活保護受給者の方は対象外です。

2 「子育て世帯臨時特例給付金」

- …平成26年1月分の児童手当を受けている子育て世帯
⇒児童手当の対象となる児童一人につき1万円が支給されます。

編 | 集 | 後 | 記

私毎ですが、7月20日に結婚披露宴を行いました。

本来であれば2011年の7月2日に結婚披露宴を行う予定で準備を進めていたのですが、東日本大震災津波の影響により3年越しの披露宴となりました。

この間生まれた2才の娘を真ん中に座らせての披露宴では心温まるご挨拶をいただき、愉快的余興で楽しませていただくなど、たくさんの方々から祝福をいただいたことに感謝の気持ちでいっぱいでありました。

今後とも、私ども家族を宜しくお願い致します。

(岩崎友一)

ご挨拶

東日本大震災津波発災から3年半が経過をしようとしております。改めて応急仮設住宅等で不自由な生活を余儀なくされている皆様にお見舞いを申し上げます。

今年度に入り、新たなまちづくりに向けて、用地をより取得し易くするための震災特区法一部改正案が成立し、県においても用地取得特例制度活用会議を立ち上げ、県事業の活用促進と市町村事業の活用支援に取り組んでいるところであります。

また、地元に戻りたいが、実家が被災し住む家がない方々などのために、応急仮設住宅の入居要件が緩和され、現在、大槌町で18世帯、釜石市で6世帯の入居があったところです。

地元事業者向けの制度では資材等の高騰により事業者の本格再建に遅れが生じないようにグループ補助金の交付額を増額することが決定をいたしました。

しかしながら、大きな課題のひとつとして持家再建資金の補助金を増額しなければなりません。また、被災地の課題も細分化してきておりますから、そういった課題もしっかりと拾いながら、復興に向けて引き続き全力で取り組んでまいります。

間もなく発災から4度目の秋を迎えます。季節の変わり目、お体にだけは十分お気を付けてお過ごしいただきたいと思っております。

平成26年8月29日
岩手県議会議員 岩崎友一

岩崎友一事務所

釜石事務所

〒026-0025 岩手県釜石市大渡二丁目6番23号TRYビル2階
TEL: 0193-55-6830 FAX: 0193-55-6831

大槌事務所

〒028-1131 岩手県上閉伊郡大槌町大槌24番地23-1 (大槌タクシー内)
TEL: 0193-42-2257 FAX: 0193-42-2258

災害廃棄物処理の御礼で山形県・神奈川県・東京都へ

昨年度末で東日本大震災津波による災害廃棄物の処理が完了したことを受けて、岩手県議会では4月から5月にかけて4班に分かれて広域処理を受け入れていただいた全国の自治体と議会に対して御礼に回ってきました。

私は4月23日、24日に班長として山形県、神奈川県、東京都を訪問し、県議会議長、都議会議長、また県、都当局に対して感謝の気持ちを伝えてきました。

山形県では釜石市、大槌町の漁具・漁網や不燃物など、神奈川県では洋野町の漁具・漁網、東京都では釜石市の可燃物や漁網、大槌町の可燃物などをそれぞれ

処理していただいたところです。

今思えば、当たり前のように片付いた災害廃棄物ですが、広域処理がはじまった当初は多くの反対運動などが展開されたにも関わらず、全国各地で受入れという英断をいただき、昨年度末に処理が終了できたということを私達は忘れてはなりません。

そして、今尚、全国多くの自治体から応援職員を派遣していただいているところでもあり、全国からのご支援に感謝をしながら、また引き続きご支援、ご協力をいただきながら復興に向けて邁進していきたいと思っております。



山形県議会にて（鈴木県議会議長と）



東京都議会にて（吉野都議会議長、藤井都議会副議長と）

根本復興大臣 釜石市の復興状況を視察

6月25日、根本復興大臣の釜石市内の復旧・復興状況の視察に同行しました。

午前中は市で誘致を表明した鶴住居の2019年ラグビーワールドカップの会場建設予定地を視察、その後、花露辺地区の復旧・復興状況を市当局にご説明いただき、完成した災害公営住宅を視察しました。

午後は被災しながらも立ち上がり、地元で頑張っている市内の事業者2社を訪問し、工場見学・意見交換を行いました。

被災地でも市町村毎に課題等も異なるため、しっかりと制度等のニーズを見極めながら市町村毎に対応していく必要があることや被災された事業者向け

の補助金の在り方など、根本復興大臣とも有意義な意見交換ができました。



花露辺にて

土坂峠のトンネル化に向けて

7月14日、法務大臣政務官の平口洋衆議院議員が大槌町に来町され、土坂峠と大槌町内の復旧・復興状況の視察を行いました。

平口洋衆議院議員には釜石市の（仮称）片岸地区産業地区連絡道路や箱崎と箱崎白浜を結ぶ鶴住居3号線の道路改良工事、大槌町の三枚堂と大ケ口を結ぶトンネル、大槌橋拡幅などの事業化にも多大なお力添えをいただいたところでありますが、発災時の土坂峠の果たした役割を話したところ、「まずは視察をしてみよう」ということで今回の視察に至りました。

視察は土坂峠の頂上にて大槌町長からトンネル化の必要性やこれまでの要望状況等について説明をいただいたところであり、大槌町議の皆さんや宮古市川井の小国地区の皆さんにも駆けつけていただき、地元のトンネル化への強い思いを伝えられたのではないかと思います。

土坂峠は東日本大震災津波発災時の緊急輸送道路として、また大槌町から内陸部へ抜ける唯一の

道として大きな役割を果たしたことは言うまでもなく、防災という観点から、また大槌町周辺地域の企業誘致や観光振興の為にトンネル化は欠かせません。

同様に釜石市の平田地区と源太沢地区を結ぶ市道平田上中島線についても私自身、トンネル化の必要性が非常に高い道路であると認識していますから、2つのトンネル化に向けて、引き続きしっかりと活動をしてまいります。



土坂峠の頂上にて

県立大槌病院 着工

大槌町寺野地区での再建に向けて取り組みを進めてきた県立大槌病院ではありますが、建築工事・電気設備工事の業者が決まり、7月から工事に着手いたしました。

今後のスケジュールは今年度から来年度にかけて工事を進め、予定通り平成28年度の開院を目指します。

尚、新たに建設される病院は1階が駐車場、2階が外来棟、3階が50床のベッドを備えた入院棟となり、同じ敷地内に医師公舎と職員公舎が整備されます。



県立大槌病院 完成予定図



総務委員会で釜石市・大槌町を視察

7月17日、18日の2日間、総務委員会の県内調査で宮古市、山田町、大槌町、釜石市を視察しました。

東日本大震災津波発災から3年以上が経過し、被災地においてはハード面の整備については徐々に各市町村とも進み出したところであり、これからはソフト面の取り組みの重要性がより増してきます。

そういったことから、今回の視察はハードとソフトの両面を組み合わせた日程で視察を行ったところです。



宮古地区合同庁舎にて（宮古市）

17日は宮古市にてNPO法人三陸情報局の方から被災地からの情報発信事業について説明をいただき、山田町では復興事業の進捗について説明をいただいた後、防災集団移転事業の移転先等の現地調査を行いました。



旧山田駅前にて（山田町）

18日は大槌町にて復興状況の進捗状況や課題等、また小中一貫校で進めているふるさと科の取り組みについて説明をいただき、その後、大ケ口地区に建設中の災害公営住宅等を視察しました。



大ケ口地区に建設中の災害公営住宅にて（大槌町）

また、釜石市ではNPO法人釜石東部漁協管内復興市民会議と釜石リージョナルコーディネーター協議会（釜援隊）の取り組みについて、それぞれ説明をいただきました。



東部漁協にて（釜石市）

総務委員会では復興局も所管しておりますから、今後もより被災地に足を運び、生の声を聞きながら、委員全員で課題や要望等を共有し、解決に結びつけられるよう、委員長として努めていきたいと思っております。

三枚堂・大ケ口線 事業化へ

3月末、大槌町の三枚堂と大ケ口を結ぶトンネルの事業化が決定しました。

三枚堂・大ケ口線は新たなまちづくりにおいて津波浸水区域を経由することなく、新たに整備される県立大槌病院と小・中一貫校、そして大槌高校を結ぶ路線であり、今回のような災害発生時に代替道路として大いに機能するまさに命の道路です。

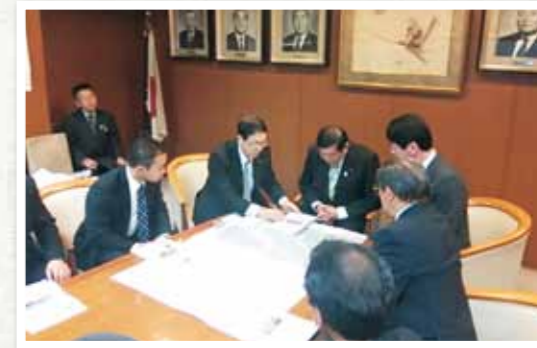
何としてもこのトンネルをつくりたいという町長の強い思いから、これまで町長を筆頭に自民党大槌町支部や町議会議員、産業関係者など多くの方々と要望活動を展開した3年間でありました。

根本復興大臣をはじめ、国会議員が大槌町を訪れる度に、町長が地図を広げトンネルの必要性を訴えている姿が深く記憶に残っています。

私も県の担当部局はもとより、自民党本部、国土交通省、復興庁に対して何度足を運び、何度頭を下げたのか数えきれません。

私達、沿岸部に住む者にとって津波と縁をきって生きることができませんから、大槌町で暮らす皆さんにとって、またこれから生まれてくる子供たちに、災害時も安全に通行できるトンネルを残せることを非常にうれしく思います。

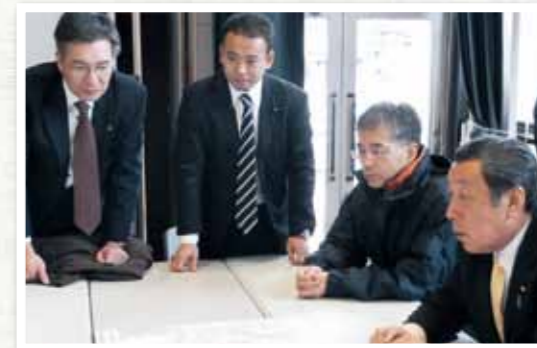
三枚堂・大ケ口線は今年度、測量・地質調査・予備設計を行い、来年度以降、詳細設計、用地買収を経てトンネル掘削へと入っていきます。



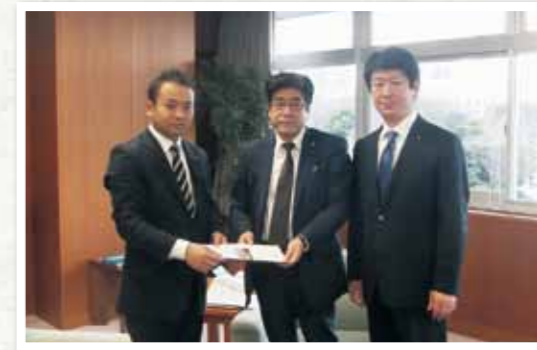
自民党 石破幹事長へ



自民党 細田幹事長代行へ



長嶋 復興大臣政務官へ（当時）



土井 国土交通大臣政務官へ

釜石・大槌 漁港の復旧率は概ね60%

岩手県漁港漁村協会では各地域における漁港・漁村の復旧・復興の進捗状況や整備課題、要望等を的確に把握し、今後の事業計画等に反映させるため、毎年県内の漁港検診を行っております。私の地元では8月20日、21日に大槌・釜石・箱崎の各漁港の復旧・復興状況の調査を行い、私も地元県議として出席しました。

漁港の復旧率は箱崎白浜漁港が概ね80%、視察をした大槌・釜石・箱崎漁港を含め県で管理する吉里吉里・両石・唐丹漁港等は概ね60%となっております。

釜石・大槌管内の県管理漁港では今年度で90%の発注が終わる予定で、来年度末には管内全ての復旧が終了する予定となっております。



▲大槌漁港にて

箱崎漁港にて▶

また、当日は復旧整備の促進や復旧後の水産業の振興等についても貴重な要望をいただきました。

言うまでも無く水産業は被災地の基幹産業でありますから、いただいた要望は国・県・市町で共有し、予算の獲得そして事業執行につなげられるよう、しっかりと取り組んでまいります。

甲子川、小釜川を掘削

近年は全国的に局部的豪雨による河川の氾濫などが頻発し、県内陸部でも昨年は甚大な被害が出たところであります。

土砂が堆積している場所や川幅が狭いところ、川の中に木が繁っている場所などは川の流れが悪くなり、氾濫の原因となることが考えられるため、氾濫を未然に防ぐため、県では今年度、甲子川と小釜川の河道掘削を行うこととしております。

川の水量が少なくなる秋から冬にかけて甲子川は大渡橋から五の橋間、小釜川は桜木町の前を掘削する予定です。



甲子川の掘削予定地



小釜川の掘削予定地

釜石市日向地区を流れる長内川、大槌川も河道掘削の要望があるため、少しでも早い時期に事業執行できるよう、引き続きしっかりと取り組んでまいります。

活動報告の一部



4月22日
(仮称)八雲第一トンネル貫通式
(釜石市)



5月8日
震災特区法ガイドライン制定についての陳情
(東京都 復興大臣政務官室)



5月21日
県議会総務委員会にて閉上を視察
(宮城県名取市)



5月27日
盛岡市玉山区の林野火災現場の視察
(盛岡市)



6月28日
根浜・室浜・桑の浜地区の安全祈願祭
(釜石市)



7月24日
吉里吉里海岸海水浴場の安全祈願祭
(大槌町)